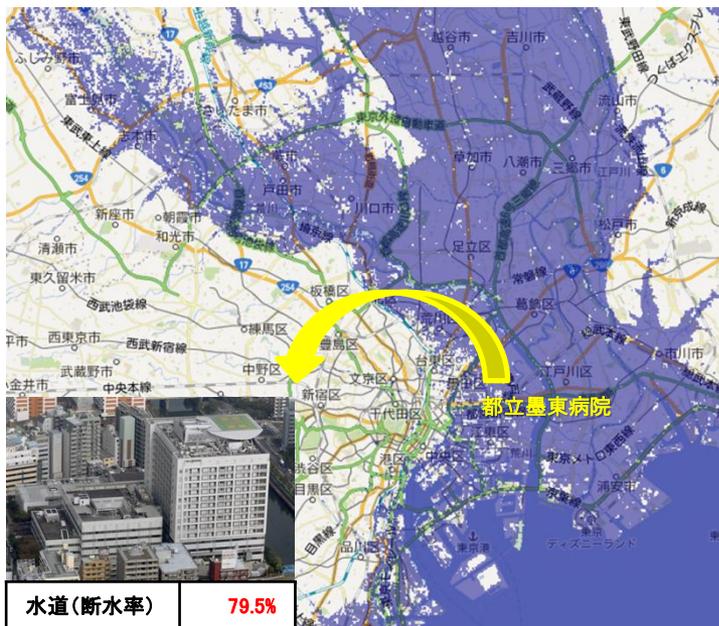
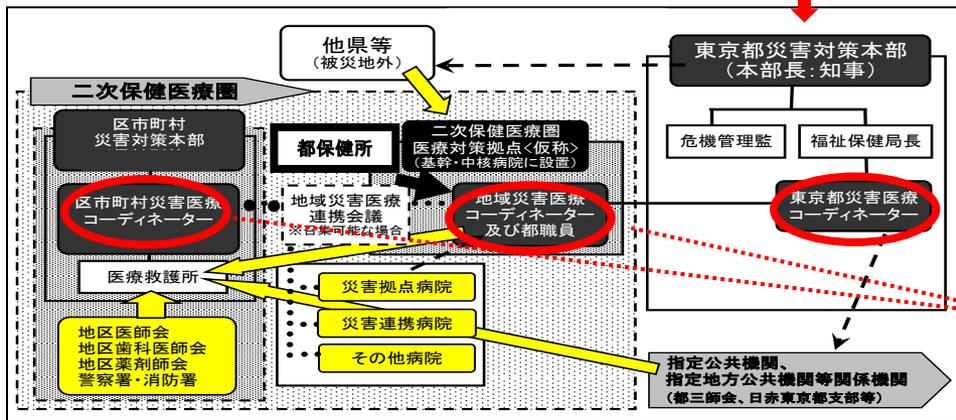
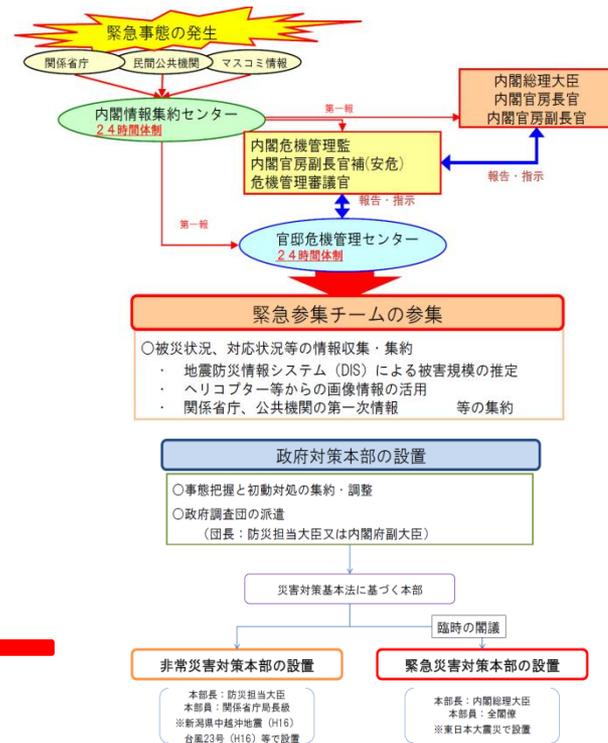


東京都の指揮命令系統及び情報連絡体制



水道(断水率)	79.5%
電気(停電率)	48.6%
通信(不通率)	17.6%
ガス(停止率)	100.0%



1. けが人の搬送先がない...
2. 誰に指示をもらえばいいのか...
3. ヘリは誰と調整をすればいいのか...
4. 医者はあるけど薬がない
5. 入間基地に降り立ったけどあとどうすれば...

艦艇、民間フェリー等船舶 連携 病院船司令塔機能、 港湾における危機管理センター(EOC)「オフサイトセンター」の構築

Civil Engagement Platform for Relief Ship Program

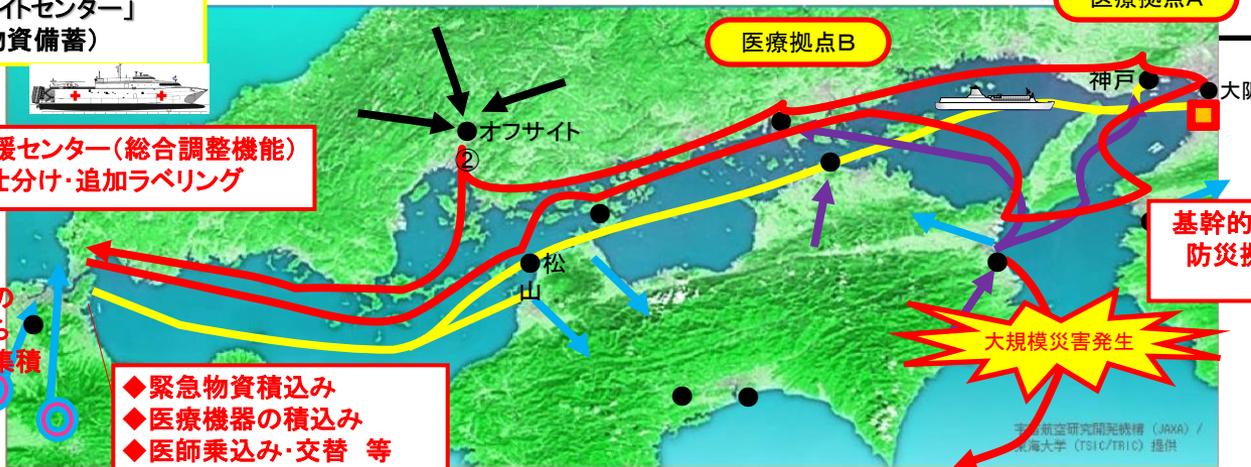
危機管理センター(EOC)
「オフサイトセンター」
(緊急支援物資備蓄)



オフサイト支援センター(総合調整機能)
◆緊急物資仕分け・追加ラベリング

各縣市町村の
集積拠点から
緊急物資の集積

◆緊急物資積み込み
◆医療機器の積み込み
◆医師乗込み・交替 等



フェリーを活用した
・緊急支援物資輸送
・医療支援(医療機器、医師団、
患者輸送)
(フェリーは輸送機能を活用する
ものであり停泊支援は行わな
い)

【凡例】

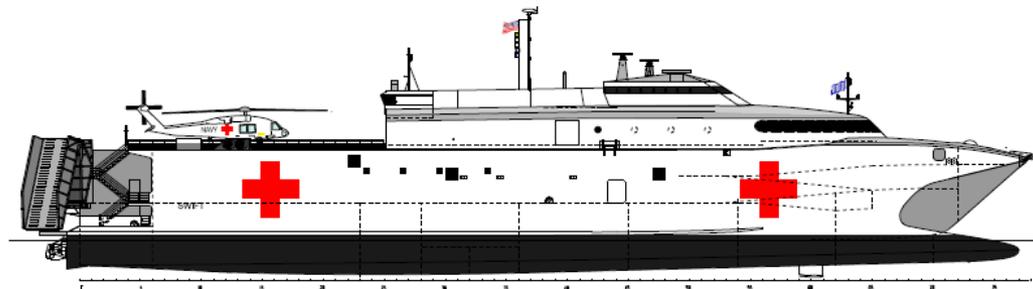
- 寄港指定港
- 支援船[物資・医療]ルート
- 緊急支援物資
- 患者

(地図例)

～危機管理センター(EOC)「オフサイトセンター」の構築に向けて～

- ◆東海、東南海、南海地震等が発生した際の被災地への医療支援、緊急物資輸送を円滑に行うためには、被災地外の自己完結的な宿泊・輸送機能を有する船舶の活用が必要である。
- ◆船舶は現地統合対策本部として指揮する情報通信機能と病院機能を有した船舶、海上自衛隊・海上保安庁の艦艇とフェリーなど民間船舶を活用した輸送を組み合わせた官民連合災害時救援船団方式による運用が適切である。
- ◆また、船舶を利用するには、オフサイトの支援基地として、港湾において保管、仕分けこれらを適切に管理する情報システムを整備し、緊急時に有機的かつ合理的にネットワークすることのできるようなシステムを構築していくことが必要。
- ◆このために必要なソフト・ハードの方策を、社会実験をとおして検討していく等の取り組みを継続することにより、ハードとソフトが一体となった仕組みを構築することが必要。

災害時多目的船の役割(災害発生時)



1. 危機管理センター(EOC) 「オフサイトセンター」

(都道府県・区市町村)災害対策本部・医療班の機能を支援する。
遠隔診療支援の調整をする。

- 被害状況把握、エリアの特定、情報発信、プランニング指令。
- 災害対策本部(都道府県)の機能支援。
- 非常災害対策本部・緊急災害対策本部(国)とのリエゾン機能。
- 医療派遣チームの後方支援。
- 遠隔診療支援中継センター。

2. 人と物の組織的導入

72時間以内に、ハード(医療設備)とソフト(医療者および医療資機材・薬剤)と一緒に被災地に投入する。

- 医療者は訓練され統率されている。
- 医療設備は整備され稼働状態にある。
- 医療資機材・薬剤は整理され分類されている。

3. 最新医療の場の提供 「災害現場にOR,ICU」

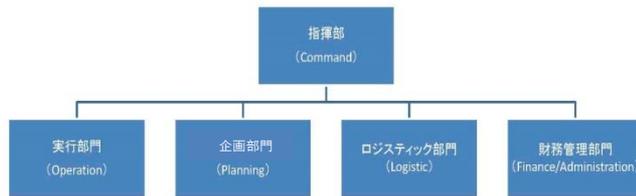
災害の被害を受けていない full spec の医療施設を被災地に横付けする。

- 防災服で手術はできない。
- 医者は病院で働くのが最も作業効率がよい。
- 「災害時には人がいない、モノがない(だから諦める)」の常識を覆す。

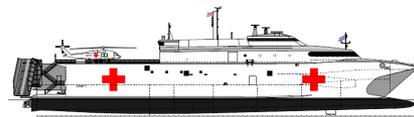
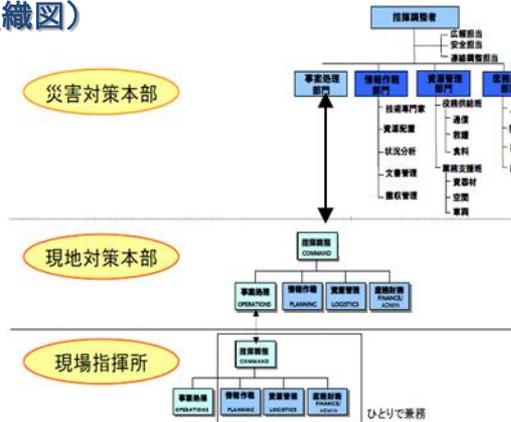


FEMAの戦略

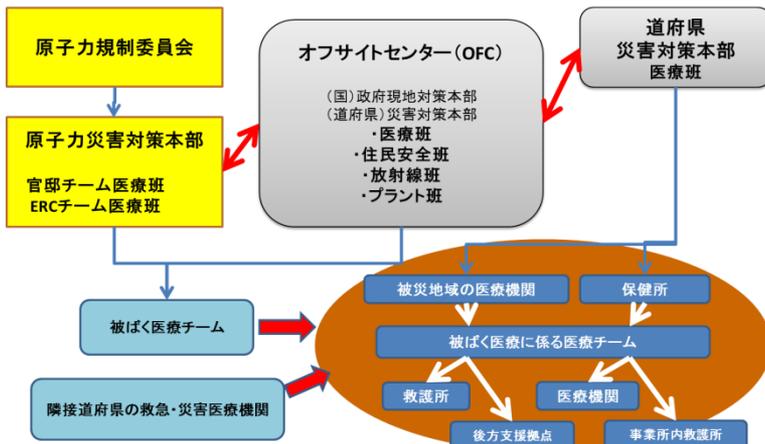
組織に関わらず危機管理・緊急時対応の基本的部分を標準化する(ICS組織図)



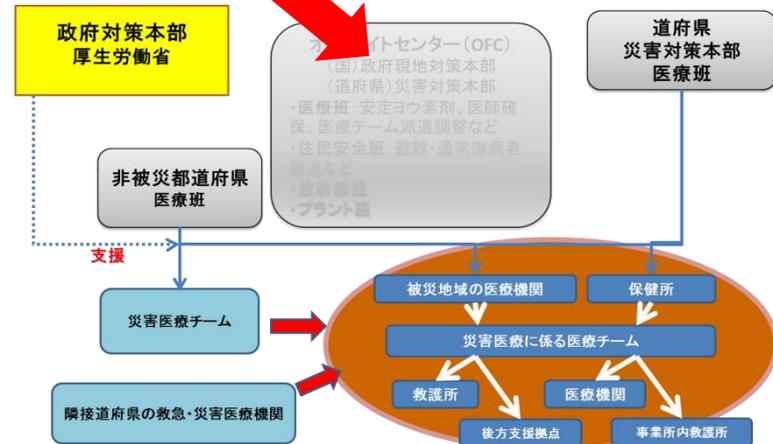
FEMAは対応の95%を
Command部門とOperation部門で処理



危機管理センター(EOC)



全面緊急被ばく医療体制



災害医療体制

災害時多目的船の平時利用

EMERGENCY MANAGEMENT INSTITUTE



FEMA

FEMA University

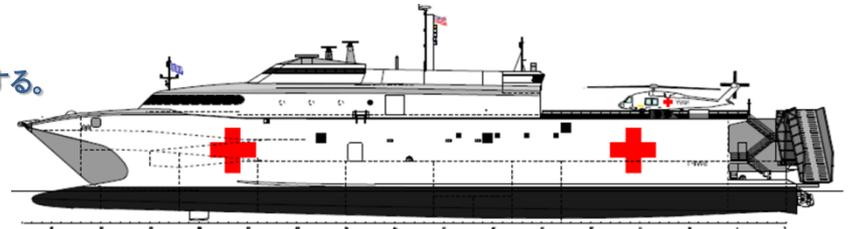


1. 危機対応基本フレームワークの整理
RR : Response Plan
IMS : Incident Management System
ICS : Incident Command System
2. 災害データの分析とライブラリ化
各地域特有の災害の分析
ソリューションの抽出
ライブラリ化
3. 危機管理対応能力の向上教育と認証
災害教育センター (Onsite Course)
Independent Study Course
4. 遠隔診療拠点(収益事業)
5. 遠隔診療支援システムの組織化



1. National Level Exercise のコーディネーション
(演習)
2. 危機対応のコーディネーション
(発災時)

- ・災害時に生命・健康を守るために必要な知識、技術、判断力を養成する。
- ・危機管理に対応するための統制能力、リーダーシップを養成する。
- ・危機管理に関連する関係法規、防災指針等を教育する。
- ・関係機関を組織化し、指揮・統制できる人材を育成する。
- ・必要な情報を収集、分析し、適切な発信ができる人材を養成する。



“永続性”が重要なキーワードとなる